

【書式1】【候補者用】

① 立候補者の 姓名と所属	小野 恭子 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 安全科学研究部門
② 立候補の理由と 抱負（400字程度）	<p>2016年6月より本学会の理事を拝命しています。日本リスク学会が、リスク研究に興味を持つ方々の触媒となる場となるよう活動してきたつもりですが、積み残しも多く、広報委員としての活動は道半ばと考えております。そこでこれまでの経験を活かして3期目も理事として活動したく、立候補を決意しました。</p> <p>本学会の強みは、会員の多様なバックグラウンドです。リスク学事典の編集を通じて感じたことでもありますが、その強みが活かせるよう、自由な議論ができる場を盛り上げることが大切です。専門分野が違っても、用語が異なっても共通理解が進むプラットフォームづくりが不足していると感じ、その点に引き続き尽力します。特に若手の活動支援に尽力したいと思います。</p> <p>学会の意義や加入することのメリットは時代と共に変化するはずですが、持続可能で活発な学会にすべく、新しい試みを取り入れることも必要と感じておりますので、変化を恐れずチャレンジしたいと考えます。</p>
② 本学会における 活動歴	<ul style="list-style-type: none"> ・第15期、第16期（2016年6月～2020年6月）理事（担当：海外渉外委員会、広報委員会） ・年次大会実行委員（2017-2019）、Society for Risk Analysis Asia Conference 2018 実行委員 ・学会におけるシンポジウム等の企画運営（2018、2019） ・リスク学事典（2019、丸善出版）編集委員として全章を査読したほか、4項目を執筆 ・日本リスク研究学会選挙管理委員会（2012）、SRA Asia 選挙管理委員会（2019） ・日本リスク研究学会奨励賞（2012） ・日本リスク研究学会誌へ論文3報を掲載（2010、2012、2015） ・年次大会での発表（2005、2008、2010～2019）
④ 研究歴・職歴等 （100字以内）	2001年3月、東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。同年、産業技術総合研究所化学物質リスク管理研究センター特別研究員。2002年より同・研究員。現在、産業技術総合研究所安全科学研究部門主任研究員。

【書式2】【推薦者用】

① 推薦する候補者 名	小野 恭子氏
② 推薦者の 姓名と所属	村山 武彦・東京工業大学
③ 推薦理由 （400字程度）	<p>小野氏は産業技術総合研究所において化学物質のリスク評価研究に従事し、詳細リスク評価書の発刊やリスクトレードオフ研究の実施をはじめ、多数の実績を残してこられた。本学会においても、学会誌に複数の研究論文が掲載されるとともに、本学会の奨励賞も受賞している。学会運営では、2016年から本学会の理事として関わっておられ、2018年3月に開催されたSRA Asia Conferenceの実施に当たっては、理事会側の主要メンバーの一人として極めて大きな貢献を果たされた。国内のみならず、SRAの年次大会への参加やWorld Conference on Riskにおけるシンポジウムの企画など、国際的にも活躍されている。このように、本</p>

学会を研究面のみならず運営面においても牽引する重要な役割を担ってこられた。こうした経験に基づいて、今後も本学会をより良い方向に導いてくれる人材の一人として大いに期待される場所である。以上のことから、本学会の理事候補者の一人として、小野恭子氏を強く推薦する。